

連絡先： Carsten Heer
電話番号 +49 (0) 40 822 44 284
メールアドレス press@ifr.org

ブレクジット： 英国、世界の自動化競争で後退 – ロボットの販売台数 3%減少

- 欧州連合（EU）の産業用ロボットの販売台数は 12%増加

2019 年 5 月 16 日 フランクフルト – 国際ロボット連盟（IFR）の最新の World Robotics Report 2019 の予備結果によると、2018 年の英国における産業用ロボットの設置台数は 2,306 台で 3%減となりました。ただし前年の英国ロボットの販売台数は前年比 31%増であり、欧州連合の最近の販売台数も依然としてプラスで 12%増加しています。

地域別産業用ロボット密度では、欧州が世界で最も高い水準にあり、製造業従業員 1 万人あたりの密度は 106 台で、ドイツ（3 位）・スウェーデン（5 位）・デンマーク（6 位）・ベルギー（9 位）・イタリア（10 位）がトップ 10 に入りました。一方、英国は世界平均に相当する 85 台で世界 22 位に留まり、2017 年に英国を追い越した中国は現在 97 台で 21 位となっています。

British Automation & Robotics Association (BARA) のマイク・ウィルソン会長は以下のように述べています。「英国では、自動車以外のすべての製造部門で主要な競合他社よりもロボットによる自動化の導入割合が低く、長年にわたり企業が資本設備への投資よりも雇用を優先し他国の労働者を集めてきました。ブレクジットをめぐる国民投票の結果とその後の政治動向により、東ヨーロッパ出身の労働者の多くが帰国を始めているため、労働力が減少しています。必然的に企業は労働力を効果的に使ったり、業務遂行に人員が不足している場合は、その代替案を見つけなければなりません – ロボットによる自動化が解決策となるのは明白です。」

IFR World Robotics Roundtable での専門家の意見

アメリカ・シカゴで最近行われた IFR CEO Roundtable 2019 において、世界中の専門家がロボットと人工知能（AI）のグローバル競争について議論する中で、Information Technology and Innovation Foundation (ITIF: 情報技術イノベーション財団) のロベルト・アトキンソン博士（会長）は以下のように述べています。「ロボットの導入は、生産性の成長を促すうえで中心的役割を果たし、すべての国がより迅速な生産性の向上を望むべきです。」

人工知能

国際ロボット連盟の津田純嗣会長は以下のように述べています。「ロボットは、製造業に欠かせない重要な役割を担っており、非常にたくさんのプロジェクトが現在進行しています。ロボットは多くの分野に適用できるので、ロボットの能力向上に取り組んでいる関係者の誰もが勝者になる可能性があります。AI に関していえば、開発者コミュニティはとてもオープンで、基本論理を世界中で共有しながら実装をめぐって競争しています。またそれらの実装化は、ロボット工学と非常に密接な関係があり大きな影響を受けています。それゆえ、ロボティクスにおける人工知能に関していえば、日本と欧州が依然としてロボットの適用に大きな役割を果たすことができます。」

実装面に焦点を当てる

アメリカ Advanced Robotics for Manufacturing のバイロン・クレイトン博士 (CEO) は以下のように述べています。「我々は実装面にもっと集中することが必要で、米国政府はハイテク技術の実装面と展開面についての政策に資金と労力を注ぎ込み、すでに工場への導入が進んでいる国際的な事例に習う必要があります。」

ビデオ・ステートメント

以下の URL から IFR World Robotics Roundtable のステートメント動画をご覧ください：

- <https://www.youtube.com/watch?v=MJQZvuT5q1g>
- <https://www.youtube.com/watch?v=bFRz6AtpKRM>

IFR について

国際ロボット連盟は、20 か国を超える 50 以上のロボット企業、研究機関、各国のロボット協会が集まって 1987 年に設立された非営利団体です。www.ifr.org

IFR 統計部は、毎年ロボティクスに関する 2 種類の調査結果を発表しています。

World Robotics - 産業用ロボット：この独自のレポートでは、産業用ロボットに関する世界的統計を標準化して表にまとめており、国別に比較を行うことができます。また応用分野及び産業部門、ロボットのタイプ、その他の技術的側面及び経済的側面で分類した約 40 カ国の統計データが収められており、主要な国については生産・輸出入データを記載しています。さらにロボット密度（例：関連分野の従業員 10,000 人あたりのロボットの台数）に関連する動向についても説明しています。

World Robotics - サービスロボット：この独自のレポートは、サービスロボットの世界的統計とサービスロボットに関する市場分析、事例研究、国際研究戦略について説明するものです。この調査は当連盟のパートナーであるシュトゥットガルトのフラウンホーファー・生産技術・オートメーション研究所 (IPA) と共同で行われています。

プレス専用連絡窓口

econNEWSnetwork

Carsten Heer

電話番号 : +49 (0) 40 822 44 284

メールアドレス : press@ifr.org

